

石垣市制施行60周年

輝いて60年 ふれあい石垣 ひろがる未来

まるごと

女 男
石垣市の「みーどうん」と「びぎどうん」のひろば



Phot by 東迎 哲展

標語

最優秀作品

「あなたとわたしの 意識改革で創る 共同参画社会」

平成19年度男女共同参画週間

石垣市主催事業「標語コンクール」入選作品

発行／石垣市総務部広報広聴課男女共同参画係

〒907-8501 石垣市美崎町14番地

TEL 0980-82-9911 (代)

TEL 0980-82-1243 (直)

No. 26

2007年 秋季号

題字：西島本 喜美子

～2007 石垣市の女性行政～

石垣市は男女共同参画都市を宣言します!!

石垣市は市制施行60周年を迎えた今年、市民と行政が共に真の男女共同参画社会を樹立し、市民生活の更なる向上を目指すため、その道標となるべき男女共同参画都市を宣言します。

現代社会において、少子化・高齢化が進むなか、国際化・情報化の進展、ライフスタイルや価値観の多様化など、男女を取り巻く環境は急激に変化して

います。私たちの石垣市もこの社会状況の例外ではありません。今までの生活・社会環境(男は仕事、女は家庭等)を改め石垣島のみ一どろん(女性)・びぎどろん(男性)がお互いに助け合い、知恵を出し合えばより良い社会を築くことができるはずです。

石垣市においても、平成8年に「男女共同参画社会の実現を目指すいしがきプラン」を策定、平成18年には男女共同参画施策の“さらなる実行”を掲げ「第2次いしがきプラン」を策定いたしました。また、プランの基本方針“地域から発信する男女共同参画社会”の実行として地域公民館への出前講座、女性のスキルアップ講座(紙面最終ページに予定記載)を行い男女共同参画社会に向けて取り組んでいます。しかし、実際の市民生活にはなかなか繁栄されないのも現状です。そこで、石垣市は11月25日(日)に市民の方々と共に男女共同参画都市となることを宣言することによって地域に根ざした男女共同参画社会を目指していきたいと思えます。



平成19年10月18日(最終会議)

男女共同参画週間パネル展



石垣市役所 1階ロビーにて開催されたパネル展の様子

2次いしがきプラン」の説明、「ポスターでみる男女共同参画の歩み」昭和20年～平成17年までの男女共同参画の歩み年表、「本市の女性登用状況グラフ」等を展示しました。また、八重山女性の翼の会による「世界地図で示す女性の翼の会研修地」も紹介されました。

今年も6月23日から29日までの1週間、「男女共同参画週間」が実施されました。

この週間は男女共同参画社会基本法の公布・施行日(平成11年6月23日)にちなんで毎年本市においても開催しており、今年も「標語コンクール」の入賞作品、パネル展を行いました。

パネル展では、「男女共同参画社会基本法」の概要版、平成18年度よりスタートした「第

平成19年度「男女共同参画週間」

～第2次いしがきプラン実行の年～

石垣市が還暦を迎えた今年、「男女共同参画」は石垣島に浸透しているのだろうか？ここで今一度、「男女共同参画週間」を通して石垣市民の皆様と共に理解と関心を深めたいと考え「標語コンクール」を開催しました。

今年はコンクールは応募資格を“石垣市内に住所を有する方”としたところ石垣島の“みーどうん(女性)・びぎどうん(男性)”の皆様から多数の応募があり、石垣島に男女共同参画の意識がしっかりと根を張ってきている様に感じられました。

男女共同参画週間標語コンクール

(女性) (男性)

・・・みーどうん、びぎどうん、語り合い・・・



平成19年度「標語コンクール」入賞者の皆さん

入選作品

～男女共同参画週間標語コンクール～

佳作

「あなたがいたから頑張れた！そんなパートナーでいたいよね。男女共同参画社会

川平 孝子

佳作

「磨き合う男女で築く輝く未来」

宮里 英伸

佳作

「自分らしく生きる社会 共同参画」

松竹 智美

優秀

「いつしよにやろうか」思いやるわが家は

共同参画家族
小底 弘子

優秀

「認め合い わかちあうことからはじまる

共同参画社会」
宮良 喜美

最優秀

「あなたとわたしの意識改革で創る
共同参画社会」

松竹 ヨシ

第2次いしがきプラン地域推進委員会開催

男女共同参画社会の実現に向けて、第2次いしがきプランを地域へ周知、啓発するために、推進委員が情報の交換及び親睦を図り、今後の地域推進計画等を立案しました。



平成19年6月16日(土)午後8:00～

今後は各公民館を通じて男女共同参画社会の浸透を図るとともに、地域社会に根ざした活動を住民の皆さんと一緒に考え話あっていきたいと思っています。

上の写真は第2次いしがきプラン地域推進委員会の写真です。



出前講座IN石垣字会

第2次いしがきプラン地域推進委員会の決定を受け、早速公民館にお邪魔いたしました。



平成19年6月22日(金)午後8:00～

講座では、男女共同参画基本法や取組みの概要をビデオで確認した後、早速、司会を宇石垣の方にバトンタッチ。みーどうん、びぎどうんが“まるざー”になって男女共同参画に対する意見交換会が開会されました。

女性の方からは「私が旅行すると台所は大変なことに・・・」、「言葉

葉の参画よりもまず行動で実践して」という意見が出れば、男性からは「私は自営業を営んでいて、朝妻が仕事に出ると私は洗濯、皿洗い、おまけに帰宅するまでに風呂にお湯をひいています」という既に実践済みとの意見もありました。

今回、初めて出前講座を開催したところ、多くの意見を聴くことができました。今後も各公民館にお邪魔をし、男女共同参画社会を浸透するようがんばっていきます。

男女雇用機会均等法が変わりました！！

平成19年4月1日スタート

職場に働く人が性別により差別されることなく、また、働く女性が母性を尊重されつつ、その能力を十分発揮することができる雇用環境を整備するため、性別による差別禁止の範囲の拡大、妊娠等を理由とする不利益取扱いの禁止等を定めた改正男女雇用機会均等法がスタートしました。

夫やパートナーからの暴力に 悩んでいませんか！！

暴力の被害は、ケガや病気だけにとどまらず生命の危険にもつながります。また、子ども達が受ける被害も深刻で、暴力のある家庭で育った子どもの心身に重大な悪影響を与えてしまう事実を忘れてはなりません。

夫(妻)や恋人・パートナーからの暴力には一人で悩まずに、まずは相談する事です。問題解決の糸口を一緒に探しましょう。

DV(ドメスティックバイオレンス)に関する相談窓口

沖縄県警察安全相談(24時間受付, 年中無休)

Tel (098) 863-9110

八重山警察署

Tel (0980) 82-0110

配偶者暴力相談支援センター(八重山福祉保健所内)

Tel (0980) 82-2330

石垣市児童家庭課(女性相談員)

Tel (0980) 82-9911

内線 2 6 5

緊急時は 110 番へ

セクシュアル・パワー・ハラスメント を無くしましょう！！

セクシュアル・ハラスメントとは

相手を不快にさせる性的な言動をいい、基本的には受け手がその言動を不快に感じた場合にはセクシュアル・ハラスメントとなります。

パワー・ハラスメント

職権などのパワーを背景にして、本来の業務の範疇を超えて、継続的に人格と尊厳を侵害する言動を行い、就業者の働く関係を悪化させ、あるいは雇用不安を与えること。職場におけるセクシュアル(パワー)ハラスメントは女性労働者の個人としての尊厳を不当に傷つけるとともに、女性労働者の就業環境を悪化させ能力の発揮を阻害するものです。

より良い職場環境を創る為にセクハラ・パワハラを根絶を目指しましょう！！

ちょっとあると便利コーナー

赤ちゃんやへん



ご存知ですか！！

市役所売店となりに授乳・オムツ交換室を設置してあります。市役所にお越しの際には、お気軽にご利用下さい。

庁舎内に響き渡る笑い声と泣き声、子ども達は次世代を担う大切な市民です。健やかに育ててほしいですね。

2級ホームヘルパー養成講座がスタート

石垣市母子寡婦福祉会(会長 仲座初枝)は今年、離島地区で初めて「2級ホームヘルパー養成講習会」を開催しました。この講座は県主催の事業で、離島在住の母子・寡婦家庭の自立促進と生活の安定を図ることを目的に実施しています。

今回、石垣市の協力を得て、9月3日から11月中旬まで行われます。

右の写真は第1回講座の様子です。

問合せ先：市児童家庭課

Tel 82-1704



女性団体支援

石垣市女性団体ネットワーク会議総会開催



平成19年6月29日(金)

石垣市女性団体ネットワーク会議は、市内の23団体で結成された組織で、今年の1月に「結成10周年記念事業」を開催し、今総会において会務報告を行いました。また、今年度の事業計画を承認し、決議しました。

主な事業予定

第1回まるごとフェスティバル開催

〈とき：平成20年2月2日(土)～2月3日(日)〉

〈ところ：石垣市健康福祉センター〉

がんばっている人たち

合格おめでとunggozimasu



美容室のスタッフの方々と一緒に

日本着付学会主催の厚生労働省認定第10回入会試験に西島本 喜美子が初挑戦でみごと合格した。

同試験は高い技術力を持った着付師の育成を目的に実施され、実際のモデルに大振り袖の着付け、帯結び化粧、かつら等の和装技術をトータルで審査する難関の試験です。

「今回の試験は自分自身へのチャレンジ、技術を磨き、資格を取ることは南の小さな島においても本土の美容師に負けないという自信にもつながる。最近では県外から石垣に結婚式を挙げに来るカップルが

増えてきており、石垣でしかできない地域性のある結婚式を美容を通してトータルプロデュースしていきたい。また、私の美容室のスタッフは現在、女性(本土出身者を含む)ばかりだが地域行事にも積極的に参加させ地域に密着したサロンを目指している」自分自身への挑戦とスタッフの育成に情熱を燃やしている西島本さん、「女性が元気でなければ家庭はうまくいかない」をモットーにこれからも女性の美への探求に頑張ってください。

初出場おめでとunggozimasu

児童文化サークルくにぶん木の会

・ ・ ・九州人形劇フェスタ沖縄大会に初出場

8月4日に沖縄県総合福祉センターで開催された第43回九州人形劇フェスタ沖縄大会(九州人形劇サークル協議会主催)に初参加しました。

当日は、八重山の代表的な子守歌「あがろーざ」と「与那国の猫小一」をアレンジしたフィンガーやボードビル(人形の手が自由に伸びたり、回転する人形)で人形劇を披露し地元の民話を取り入れた企画は、会場から大きな喝采を浴び、今後ますます大きな大会を目指し、一同がんばる決意を確認したようです。当会は、1987年頃「こどもの日」の文化会館主催の行事に参加したのが始まりで、幼稚園、小学校の教師や保育士を中心として、人形劇や読み聞かせ、また、八重山のわらべ歌や民話を掘り起こす等、多彩な活動を展開しています。



児童文化サークルくにぶん木の会の皆さん

特に ①子どもが喜ぶテーブルサート ②高齢者とのふれあいで民話と地域めぐり

③昔物語の再編等

子ども好きな会長さんは、楽しそうな笑顔で夢を語っていました。

八重山での戦争体験の語りべ ～伊是名米子さん～

近年戦争体験者が高齢化する中、戦後62年目の終戦記念日となった8月15日「憲法9条の碑」の前で一人の語りべ(伊是名米子さん)が戦争体験を語りました。

「今も戦争のことは決して忘れる事はない。従軍看護婦時代は於茂登岳上空から襲い掛かってきた敵の機銃攻撃に合い多くの兵士が倒れ、爆弾で傷ついた兵士達やマラリア罹患者の看病等も十分に出来なかった。」また、「明日、敵艦隊の特攻に出撃する」と言った航空少年兵との会話を思い浮かべ「いかに戦争が人の心を傷つけ、心を曇らせ、麻痺させるものであるかをつくづく知った。いつまでも平和であってほしい」と戦争を知らない世代に語り掛けていました。



「憲法9条の碑」の前にて

～主催:自治労石垣市職員労働組合女性部～

男女共同参画講座・市民フォーラム・出前講座等一覧日程表

月/日	時間	講師	場所
9/28 (金)	13:30～16:30	石原 絹子氏 (NPOコミュニティおきなわ代表理事)	石垣市役所第1・2会議室 ・主催:石垣市 ・対象:市女性職員
	内容	講話 「リーダー育成の為にスキルアップをめざして」 演習 「効果的なワークショップの持ち方」	
10/16 (火)	19:30～21:20	崎山 律子氏 (フリージャーナリスト)	石垣市健康福祉センター 視聴覚室2F ・主催:石垣市 ・対象:石垣市民
	内容	講演会「ことばとコミュニケーション」～自己表現について～	

男女共同参画都市宣言

月/日	時間	参加者	場所
11/25 (日)	14:00～17:00	石垣市の“みーどうん”と “びぎどうん”の皆様	石垣市民会館中ホール ・宣言セレモニー :主催 石垣市 ・市民のつどい :共催 石垣市 :第2次いしがきプラン 地域推進委員会
		一部 宣言セレモニー 二部 市民のつどい	

第2次いしがきプラン地域推進出前講座

月/日	時間	参加者	場所
12月 月上旬	調整中	地域住民の方々	大浜公民館(予定)
	内容	第2次いしがきプランを地域の方々に理解していただく為の座談会等	

表紙解説

「まるぎー」とは、八重山方言で円座を意味します。老若男女関係なく、円座になって情報を交換したり、未来を語り合うことを象徴して命名されました。

表紙の題字は、女性企業家の一人として美容業界で技術向上、人材育成に努められており、この度、厚生労働省認定:着付検定制度試験に見事合格し栄光に輝いた西島本喜美子さんです。